

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：藤本 かおり

研究分野	研究内容のキーワード
	ストーマケア、褥瘡ケア
学位	最終学歴
修士（看護学）	

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 創傷ケア用品の上手な選び方・使い方 第2版	共	2010年	日本看護協会出版会、東京	
2. ストーマケア エキスパートの実践と技術	共	2007年	日本ET/WOC協会、照林社	
3. 褥瘡チーム医療ハンドブック	共	2007年	文光堂	
4. 術後の危険レベル別対応術6 ストーマ編	共	2006年	消化器外科NURSING：メディカ出版11（12）	
5. 救急・集中治療における褥瘡・創傷ケア		2001年	エマーゼンシー・ナーシング：メディカ出版、夏期増刊（通巻165）	
2 学位論文				
1. 周手術期のストーマ造設患者家族のストレスに対する認識と希望する援助	単	2011年	大阪府立大学大学院看護学研究科（修士論文）	
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 排便管理システムの効果と評価		2014年5月16日	創傷・ストーマ・失禁管理学会	
2. 学会発表				
1. 下腿部の掛け布団の有無による足底湿度の変化に関する研究		2016年6月	日本人間工学会第57回大会	
2. アクティブラーニングを意識した授業運営後の看護系大学1年生の社会人基礎力の現状		2016年3月	第42回日本看護研究学会学術集会	
3. 高機能エアーマットの頭側挙上で病的骨突出の仙骨部に起こる変化		2016年11月	看護人間工学会誌	
4. 術前ストーマ外来の必要性と役割	共	2009年	第62回済生会学会（大	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
に関する報告			阪)	
5. チーム医療における看護師の役割	単	2007年	第34回日本集中治療医学会学術集会（神戸）	
6. 排泄ケア困難症例に対するフレキシシール（便失禁管理システム）の使用経験		2006年10月21日	第8回日本救急看護学会（福島）	
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 45度頭側挙上体位での仙骨部骨突出部位に寝衣の違いが及ぼす圧力とずれの調査		H29～H32	基盤研究C（一般）H29～H32	高齢化に伴い、寝たきりや高度病的骨突出のある高齢者が増加しており、療養生活の中では頭側挙上をする機会が多い。このため骨突出部位に強い圧力とずれ力がかかり褥瘡発生や悪化をきたしやすい。特に体側に近い寝衣部分での圧力・ずれ力が骨突出部位に影響していると考えられる。褥瘡予防に効果的なケア方法を開発するため、本研究では、45度頭側挙上体位での仙骨部骨突出部位に寝衣の違いが及ぼす圧力とずれを調査することを目的としている。
2. 45度頭側挙上体位でのベッドメイキングの違いによるハンモック現象の発生状況調査			科学研究費補助金（研究活動スタート支援）	重度病的骨突出者に対する褥瘡予防ケアを開発するため、高機能エアーマット上で仙骨突出模型を使用して、「シーツなし」「処理なし」「コーナー法」「結ぶ法」の4つのベッドメイキングの45度頭側挙上でのハンモック現象の発生調査を行った。最もシーツの針が強いと予測した「結ぶ法」においても明らかなハンモック現象は生じなかった。

学会及び社会における活動等

年月日	事項